

ボランティアだより

平成27年1月1日発行

第15号



平成26年11月15日～16日に武雄市文化会館にて「たけお物産まつり」が開催され、武雄市ボランティア連絡協議会では16日にバザーを実施いたしました。



朝早くから準備を行い、たくさんの商品が集まりました。収益金110,760円は武雄市社会福祉協議会を通して佐賀県共同募金会へ送金いたしました。

【もくじ】

- 新年のあいさつ…………… P 2
- 緑綬褒状受章…………… P 2
- ボランティアグループ紹介…………… P 3
- 武雄ブロック代表者会視察研修…………… P 3
- レクリエーション交流会(ウォーキング) …… P 4
- わがまち自慢(武内町) …… P 4

発行元 武雄市ボランティア連絡協議会

編集 武雄市ボランティア連絡協議会広報委員会

事務局 武雄市北方町大字志久1557番地
(武雄市社会福祉協議会内)
TEL 0954-36-5505 / FAX 0954-36-3160

広報委員 大鋸 誠士(武雄ブロック) 森 不二子(山内ブロック)
諸泉寿美子(北方ブロック)

ボランティアグループの紹介

武雄市内のボランティアグループが現在31団体あります。
グループ毎の主な活動内容を前回に引き続きご紹介します。
山内・北方ブロックは次号ご案内します。

グループ名	主な活動場所	主 な 活 動 内 容
手づくり遊具の会 「あかとんぼ」	市文化会館 武雄町内	布の絵本、遊具作成及び手作り遊具貸出し 子育て支援活動参加 障がい児とのふれあい活動 「おもちゃ図書館」グループとの活動 図書館活動支援
武雄手話の会	市内 佐賀県内	各種行事等による通訳 〔各種講習会・障がい者スポーツ大会 成人式・福祉大会・耳の日行事等 手話講習会参加協力(市社協手話講習会等) 手話通訳者設置事業受託(市役所) 会員相互の親睦を図る活動・勉強会(週1回)〕
ボランティア日舞 「豊の会」	市内	福祉施設等の入所者と地域との交流を図る活動 市内清掃
さくらんぼ	市内	市内外の介護施設等の読み聞かせによる朗読ボランティア (ぬくもいホーム太陽・たんぽぽ・あんずの郷等)
すずらん夢一座		施設訪問し公演 (歌謡・フラダンス・創作舞踊等)
九州ひぜん信金 ボランティア連絡会	市内 営業店所在地区	献血呼びかけ 武雄町内環境美化活動 独居老人宅奉仕作業(掃除・草刈り)
武雄太陽グループ	市内	施設へのタオル等の贈呈、バザー商品提供協力 ペットボトルキャップ回収



新年のご挨拶

武雄市ボランティア連絡協議会 会長 西田 芳子



新年あけましておめでとうございます。
皆さまには、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
また、平素よりボランティア活動にご支援・ご協力いただき心より厚くお礼申し上げます。武雄市ボランティア連絡協議会では、会員相互のネットワークを活かし地域のニーズに合った活動に取り組んできました。合併して8年が過ぎ目標としていました、地域間の垣根も交流事業や研修会等を通して低くなり会員同士の繋がりも深まってきていると思います。これも何かのご縁だと思い、まるく円になり笑いあるボランティア活動に取り組んで参りたいと思います。

2014年秋の褒章受章

緑綬褒状

ボランティア武内「わかば会」



月に1回、会員が材料を持ち寄り公民館で調理し、多くの高齢者宅に手作り弁当を配られています。また、訪問時声かけを行い、見守りにも役立っています。その他、異世代交流も評価され今回の受章となりました。



平成26年11月11日厚生労働省で伝達式があり、その後皇居宮殿「春秋の間」において天皇陛下に拝謁しお言葉を頂きました。

昭和58年10月に発足しましたボランティア武内「わかば会」。

こんな田舎での小さな活動なのに思ってもいなかった褒章に選ばれ会員一同本当にうれしく思います。これも住民の絆が強く、地域の後押しや家族の協力があつたからこそ活動が続けて来られたと思います。メンバーも高齢化しています。今後はしっかり後継者を育て、次の世代に活動を引き継いでいきたいと思います。これからも武内の豊かな自然を守りつつ住みよい街になるように焦らず、のんびりやっていきたいと思います。

ボランティア武内「わかば会」会長 西田芳子

武雄ブロック代表者会 視察研修



武雄ブロック代表者会視察研修に参加して
武雄太陽グループ 永田文代

秋晴れの9月25日、「NPO法人ちゅうりっぷのうた」を訪問。肥前山口駅の南側にあり、とても交通の便がよく、作業所に通う子供達が一人でも来れる場所を念願し開園されました。本村容子理事長は長年、特別支援の教職員をされ「子供達の卒業後はどうなるのだろう」と案じられ私財を投じ、保護者の協力で作業所を子供達の集える受入れ先としてたちあげられたとの事です。作業所では指で編みこむマットや企業からの内職を受けて、皆さん元気で働いておられました。更に子供達のすばらしいカラフルな色使いの絵を、カレンダーに製作し毎年発売されておられます。私達も支援していくことになりました。私はボランティアをして3年になりますが、更に人の役に立ちたいとの思いを深くしました。

武雄市ボラ連交流会「ウォーキング」

この秋一番の冷え込みを迎えた11月13日(木)、今年新しく建設された武内公民館に約150数名が集まってウォーキングが開催されました。小雨がパラつき開催できるのかやきもきしましたが、色とりどりの傘の花を咲かせながら出発。歩くにつけ、雨もあがり飛龍窯での小休止をへて柿田代の遺構址等々武内町再発見をしながら皆無事にゴールの武内公民館へ戻りました。ボランティア武内の皆様による心づくしのお弁当をいただきました。とても美味しかったです。ごちそうさました。お陰さまで、楽しい時間を過ごせたことに感謝です。お疲れ様でした。

はなみずき 松尾康子
(山内町)



佐賀県重要民俗無形文化財「真手野舞浮立」

真手野舞浮立保存会会長(東真手野区長) 古賀 徹之

武内町東真手野区に伝承されている「真手野舞浮立」を紹介します。「真手野舞浮立」の起源については古く、定かではありません。しかし、その昔、武雄領主後藤氏が平家の落人をこの地に忍び住ませ、きらびやかな衣装で雨乞いの祈祷等に奉納したのがはじまりと言われています。その後、第26大領主鍋島茂明氏が参勤交代のうちに三州岡崎で目にした浮立から、歌舞伎の芸能の一部を導入して完成されたと伝えられています。現在伝承されているものは33囃子からなっており、祈りの囃子から始まって娯楽の囃子へと流れていきます。



この33囃子を伝承するため、真手野舞浮立愛好会(笛・鉦・地囃子)を中心に毎月練習に励むと共に、33囃子を東真手野区6地区に振り分け、その地区の得意囃子としています。

毎年夏休みになると、各地区の小中学生は、その地区の得意囃子を夏祭り(祇園)に向けて練習に励み、きらびやかな衣装を着けて、笛・金・地囃子に合わせて地区総出の夏祭りでにぎわいます。

また、武内神社には、「真手野舞浮立」として6年に1回、33囃子を女荒踊り・勇壮な勢合いと共に1日かけて奉納しています。今度の奉納は平成28年4月第1日曜日の予定です。是非お出かけ下さい。



わがまち自慢(武内町)



編集後記



あけましておめでとうございます。

今年こそは…の願いを込めて新年をお迎えのことと思います。

昨年は、広島の大規模土砂災害や御嶽山の噴火など心痛める出来事が多くありました。他人への思いやりや優しい心配りなど、ボランティア活動にとっては、とても大切なことだと改めて思っているところです。身近な所から出来る事からボランティア活動を始めてみませんか？(広報委員 諸泉寿美子)

※今回第15号より誌面を右開きとしました。今後ともよろしくお願いいたします。